

組合に相談しよう
 不払い相談、融資・税金相談、教育資金、サラ金、生活保護、社保未加入問題…
練馬支部 03-3825-5522

けんせつ北部

定価三十円

購読料は組合費に含まれています。

発行所
 東京土建一般労働組合
 城北ブロック会議
 東京都豊島区西池袋 5-22-15
 板橋 (3963) 5325
 練馬 (3825) 5522
 豊島 (3986) 2471
 北 (3902) 7121
 発行人 代表者 川合 正人
 発行日 1日、9日、17日、25日

第94回中央メーデーに15,000人 賃金・暮らしの向上と大軍拡反対を訴える

東京土建のデコレーションカーも復活



練馬支部の仲間も元気に「団結ガンパロー、



デコレーションカーを先頭に外苑前までデモ行進



メーデー当日、通信社の取材を受ける赤松さん(写真右)

第94回中央メーデーが5月1日、代々木公園で開催されました。新型コロナ対策の人数制限をなくした大規模開催は4年ぶり、練馬支部から92人、全体で1万5千人の働く仲間が参加しました。

中央メーデー代表委員の小畑雅子さん(全労連議長が主催者あいさつ)。「3年余りのコロナ禍のもとで、新自由主義経済政策の矛盾があらわになった」とのべ、「正規と非正規雇用、男性と女性の賃金格差がますます広がっている」と指摘、「掲げた要求に確信をもち、労働組合への結束を高め運動をすすめよう」と訴えました。また、「戦争か平和かの重大な岐路に立つ今、大軍拡・増税、改憲ではなく憲法を生かして、平和な日本をつくるために、幅広い労働者・国民の共闘を」と呼びかけるなど賃上げ要求の輪が広がっていると報告しました。

練馬支部は青年部特別賞と優秀賞に輝く

今回のメーデーでは、東京土建のデコレーションカーも復活。集会后、都内3コースをデモ行進しました。会場には、各支部が作成したデコレーションカーが並びました。練馬支部も青年部員が中心となり、今年のモチーフ「登龍門」を見事完成させ、コンクールの審査結果で青年部特別賞と優秀賞に輝きました。



力強い竜と鳥居が注目を集めた「登龍門」

来年のメーデーに向け

多くの職種が結集する 青年部をめざす

赤松雄太・支部青年部長
(28歳・左官・練馬分会)

青年部長になったのだからみんながんばって、新型コロナの感染拡大は、青年部特別賞と優秀賞までもらえたこと、20年でした。それから、とても嬉しかったので、3年、メーデーデコレーション制作して実際に進んだのは、今回が初の1日、一昨年に作成したものでした。3月から合の日の目をみなかった。計20日間あまりにわたって、先輩方の援助もいた「龍」を補強・修繕し、新たに鳥居の門をつくります。

今回のデコレーション制作は、一昨年に作成したものでした。3月から合の日の目をみなかった。計20日間あまりにわたって、先輩方の援助もいた「龍」を補強・修繕し、新たに鳥居の門をつくります。

来年は、私自身、年齢的に最後の青年部となります。今年の経験を生かしながら他支部のデコレーションも参考に、来年は行進する組合の仲間とさらに一体となるようなデコレーションをつくりたいです。そのために、スポーツ・レクなどにとりくみながら、さまざまな職種の青年組合員が結集し、活動する青年部をつくっていきたいと思います。(文)

**春の拡大月間
いよいよ後半戦・最終盤へ**
 春の拡大月間は、5月10日現在、106人の新たな仲間を迎えています。事業所の新規入職だけでなく、分会内事業所からの外注さんの紹介や、分会の仲間から、分会の仲間から同じ現場で働く未加入者の紹介なども増えはじめています。目標達成まであと122人です。仲間のみなさんの力を貸してください。

ねりま大根

医療機関からマイナ保険証反対の音が高まっている。マイナ保険証のシステム導入の医療機関への義務付けは違法だと都内の医師らが国を訴えた。原告は1075人にのぼるという▼マイナ保険証は保険者(土建国保)にとっても重大な問題だ。マイナカードには保険者名が記載されない。組合員の土建国保への帰属意識が失われかねない。マイナ保険証をつくった後、住所変更を役所に届け出ても、保険証情報は自動的に切り替わることはない。マイナバー情報を変更すれば保険証情報も変更されると誤解されることが、組合員と連絡等が取れず、正確な被保険者管理ができなくなる事態も危惧される。紙の資格確認証にしても、どの組合員に資格確認書を発行したのか、有効期限はいつまでか個別に管理するのはあまりに負担が大きい▼マイナ保険証の導入に付随して保険料を納められない世帯への「短期被保険者証」は廃止される。全国で48万世帯が実質無保険となり、国民皆保険制度を根底から覆す。マイナ保険証にいいことはない。反対の声を急いでひろげよう。(文)

群会議に参加していますか？

群会議の現状と課題を交流

群三役学習会

「群」は東京土建の組織を支えるいちばん大事な基礎組織。4月26日・27日の両日にわたり「群三役学習会2023」を開催し、群会議の活性化に向けた経験・課題を交流しました。学習会は全28分会で開かれ、合計229人が参加しました。

今回の群三役学習会では、組合の綱領・規約の基礎を学ぶとともに、群会議の現状を共有し、「群の活性化に向けた手立てを考える」講義と座談会を行いました。



群三役学習会に参加した田柄分会の仲間

園)などの感想も寄せられました。

群の活性化に向けた座談会では、「役員のみ手がいない」「コロナ禍のなかで群の仲間の読み合わせが減少してしまっ

た」などの共通の差し迫った課題が現状として語られました。そうしたなかでも、「私の群は9人だが、7人くらいはいつも出席して、若い職人さんたちが意見交換・交流している(豊玉10群)」「群

会議の参加確保で、参加率が低い組合員に電話連絡。保険証交付会の前日には全員に電話やLINEで連絡をとっている(新大泉4群)といった状況・とりくみも報告されました。

また、「9群は群役員をみんなで回している。前年度はアマダクジで群長を決めた。群長は分会6役がサポート。新しい方は年一回だけでも出てきてくれればいい。役員になったことを通じて、役員員の目で組合をみると

今後の群三役学習会の持ち方について、「群三役」学習会という、群三役だけというイメージに、なってしまう。多くの群の仲間に参加してもらうためにネーミングを変えたらどうか」といった意見も出されました。

関町分会

群の再確立・活性化に向けた

討議と行動すすむ



分会紙「あすなろ」も役員みんなで作りました

関町分会では、今年の分会総会で「役員療養のため新たな役員が引き継いだが、負担が集中」など群の現状が報告され、群の体制の再確立を今年の分会のテーマとしてしっかり取り組もうと意思統一をおこないました。さっそく4月分会執行委員会が組織部長を中心に分会六役が各群役員への聞き取り(アンケート)を実施。「4月昼間行動」では分会役員が群オルグとして所属事業所を訪問し、納入状況などについて聞き取り。そして、今回の群三役学習会(15人参加)で各群のアンケート結果と昼間行動の対話を伝える分会紙「あすなろ」も役員みんなで作りました。

分会紙「あすなろ」も3年ぶりに復刊。こうしたとりくみのなか、仲間に関心を持ってもらうために、3年ぶりの復刊を果たした。分会書記長のよ

「相続」相談

支部会館で毎月定例開催します



多くの方が避けては通れない「相続」ですが、なかなか自身でおこなうには難しく、「どの専門家に相談すれば良いか分からない」「親族間のトラブルが不安」「気軽に相談したい」「何を備えるべきか」など、困っている、悩んでいる仲間に向けて組合で相談窓口を開設します。

- 【とき】毎月「第2金曜日(休日の場合は翌営業日)」午後3～5時
*6月の日程…6月9日(金)
- 【ところ】練馬支部会館で対面、ZOOMも可
- 【相談料】初回の30分無料(予約制)
- 【対応者】朴木(ほおのき) 税理士(今後、登記関係等について司法書士とも連携)
- 【内容】生前贈与から相続税や遺産分割協議などの相続全般や事業継承まで相談・カウンセリング
- 【問い合わせ・申込】支部税金経営対策部の担当書記まで

内容を全体で共有するとともに、改めて群の報告を受けて状況や課題を整理。「6群は大きく分けて2グループとも昼間納入になっている」、「8群は複数の事業所、個人が所属。一部は夜間納入が可能だが、大半は昼間納入」などの状況を共有しました。

そのうえで、分会で新たにとりくむ手立てとして、昼間の群会議の検討(誰が運営を担うかが課題)などの案を討議。分会として「昼間の群会議の実現に向け討議を継続した上で、当該「群」の各組員との対話をすすめていくことにしました。

分会総会で分会長が今年の後継者対策に真剣にとりくむと分会の方向性を示したことで、今回の群三役学習会は、群の組織課題にしっかりと分会全体で向き合い、自分たちの課題として考える機会になりました。

分会紙「あすなろ」も3年ぶりに復刊

こうしたとりくみのなか、仲間に関心を持ってもらうために、3年ぶりの復刊を果たした。分会書記長のよ

感想が出されました。